キッズみんなの日記

11月号

朝夕の冷え込みが冬の訪れを感じさせる今日この頃ですが、例年に比べればずいぶんと暖かい十一月です。早いもので、今年も残すところ二ヶ月となりました。

学校では、合唱祭や校外学習といった行事を控えている塾生も多いですね。六年生にとっては、すべての行事が小学校最後の素敵な思い出になることでしょう。本番のみならず、練習中の様子、当日を迎えるまでの気持ちの高まりを是非、日記に書きとめてくださいね。クラスメイトや先生など自分以外の人の様子を描写したり、気持ちを推し量ったりすることも、とても大切なことです。優秀作品を参考にそのテクニックをまねしてみると良いですね。

【お詫び】私事で恐縮ですが、一日に父が亡くなりました。看病と葬儀のため11月号の発行が遅れまして、皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

市澤　祥子

優秀作品紹介

★「理由＋感想」で生き生きと★

足をぬった

この間、ぎゅう角にたべにいってかえろうとしたら、ブロックべいでころんで肉がきれちゃったよ。

かけんびょういんまでいって、二はりぬったよ。ますいちゅうしゃをうったからいたくなかったよ。

でも、歩くことはできるけど、はしれないからざんねんだよ。

（小二・IS君）

S君の「～よ。」という語り口調が可愛らしく、二針も縫った大事件だったことを忘れさせてしまいますね。さすが男の子！強いですね。痛いことより、走れないことが残念だとは。えらい！

★★感情の高まりを上手く表現する★★

カードゲーム

九月十一日の朝十時に兄とカードゲームをやりました。さいしょにやったときは、ぼくがかちました。二かいめは、兄がかちました。

三かいめは、ぼくがかちました。きりふだをだせてうれしかったです。

（小三・NN君）

N君、お兄ちゃん相手になかなかの腕前のようですね。勝って嬉しい理由を「きりふだを出せて」ときちんと挙げることができました。このように、理由を述べると、「嬉しさ」の表現も幅が広がりますね。

大なわ

今日、クラスのみんなといっしょに大なわをしました。私はあまりとべなかったので、とびませんでした。なぜかというと、みんなは八の字のとび方で、新記録にちょうせんしていたからです。今までの最高記録は百二十二回です。私はとべなかったので、数えてあげました。

「一、二、三、四、五……。」

と数えていたら、百二十二回をこえて二百回になりました。チャイムがなっても続けてました。記録は、二百五十五回です！私は、とんでないけど、うれしかったし楽しかったです。

（小四・OAさん）

Aちゃんの控えめで優しい性格が表現された素敵な日記ですね。クラスみんなの記録を自分のことのように一生懸命に見守っている様子が目に浮かびます。次回は失敗を恐れずにAちゃんもみんなと一緒に挑戦して欲しいです♪

きん張のサッカー

ぼくはついに、サッカーの市内大会のぶたいに立ちました。ぼくは、期待ときん張の気持ちで試合にいどみました。

そして、その試合は、０対０の接戦でした。初めのフエがなり、前半が終わりました。そして、後半の始めも接戦で、「これで一点取ったら勝てる」と思っていると、後半十分、相手のロングシュートでゴールが決まってしまいました。

ぼくは、「クソッ。」と思いました。くやしくて、くやしくて、チームみんなで最後の力をふりしぼりましたが、二回目のフエがなり、ぼくたちは負けてしまいました。けれど、ぼくはチームみんなが最善をつくしたので、しょうがないと思いました。また、次を待って今度は優勝したいです。（小五・ST君）

T君の試合中の熱い思いがとてもよく伝わってきますね。接戦だっただけに、悔しい思いも残ったでしょうに、最後の一文を次の試合への思いで締めくくり、前向きで爽やかな文章になりました。

★★★感情の変化を生き生きと★★★

くつ洗い

夕方、おふろ場でお母さんがくつ洗いをしているのを見にいったら、ゴシゴシとみがいていた。ぼくもやってみたいなあ。ぼくが手伝いたいと言いました。

「ちゃんとゴシゴシみがいてね。」

自分に水がかからないように気をつけて、おくの方をゴシゴシみがきました。すると、お母さんは、上手になったねと言いました。はじめてじゃなかったので、意外と簡単でした。お母さんが、

「ありがとう。」

とほめてくれました。

自分でみがいたくつは、きれいに思いました。また、やりました。お母さんが、よろこんでくれたので、またお手伝いをやろうと思いました。

（小六・ND君）

D君は、くつ洗いというお手伝いを通して「興味」→「達成感」へと感情が変化するに至る様子を実に生き生きと表現していますね。日常のありふれた体験を上手に切り取って題材にできました。

高とび

今日の四時間目に体育がありました。私は、三時間目の算数の時間から、ドキドキしていました。なぜかというと、体育で高とびをやるからです。私は、高とびをやったことがなくて少しこわかったからです。

いよいよ、体育の時間になりました。少しこわかったけど、思いきってとんでみると、けっこうとべたのでよかったです。

私は、九十センチまでとべました。また、次の体育でやってみたいです。

（小六・SHさん）

「緊張」→「決意」→「安堵」→「自信」と感情の変化を実に見事に表現しましたね。高跳びを終えたHちゃんは、きっと爽やかな笑顔だったことでしょう。今後の記録更新が楽しみですね♪

伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

おだんごぱん　福音館書店

せた ていじ 訳／わきた かず 絵

かまどからとびだした「おだんごぱん」が逃げ出す！？ヨーロッパで最も代表的なロシア民話。

★★中学年★★

ロッタちゃんのひっこし

偕成社

ｱｽﾄﾘｯﾄﾞ・ﾘﾝﾄﾞｸﾞﾚｰﾝ 作

５才のロッタちゃんが家出！？小さな子のかわいいわがままぶりと両親の愛情が温かい物語。

★★★高学年★★★

魔法使いのﾁｮｺﾚｰﾄｹｰｷ　福音館書店

ﾏｰｶﾞﾘﾝ・ﾏｰﾋｰ 著

短編集なので、朝の読書の時間にもおすすめです！ほのぼのしたお話ばかりです。